

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： 熱帯性環境微生物による省エネ高温発酵技術
提案機関名： 山口大学

コメント

本提案は、耐熱性（中高温）微生物を活用して、タイが豊富に有するバイオマスからのバイオ燃料やバイオプラスチック素材の生産、更に工業原料としての酢酸の効率的な生産に向けた基礎研究と生産実証試験を実施する取組であり、東南アジア地域において取り組む必要性・必然性及び相手国におけるニーズが高いことが評価される。本分野は、バイオ燃料産生関連研究として我が国がリードしていく分野であるが、提案された取組はこれまでの研究により得られた最新の成果に基づいており、日本が有する技術・ノウハウを耐熱性微生物を用いた検討に効率的に適用することにより実用化への展開が図られ、その成果に期待が持たれる。

なお、耐熱性微生物によるエタノール生産の経済性に関する見通しが未だ十分ではないと考えられること、及び相手国機関の役割、共同研究実施におけるその具体的な分担内容が明確ではないことから、これらを明確にしたうえで推進することが必要である。